

令和 3 年度 （ 生田 高等 ） 学校 年間指導計画

教科・科目	地理歴史・世界史探究	学年	3 学年	教科書	自主作成教材
		単位数	4 単位	副教材	

学習目標	世界の歴史の中で、特に古代以降の各地域世界の展開と、世界の一体化の進展に対する理解を深めながら、世界史の全体像を把握できる力を養う。																
学習方法	1. 板書、プリント、年表等を使用し、古代以降の世界の歴史について学習する。 2. 自主教材等を使用して知見を深めつつ、歴史的事項について、意見交換をする。 3. 問題演習を行い、知識や考え方の定着を図る。																
学習評価																	
	<table><tr><th colspan="2">評価の観点</th><th>科目の評価の観点の趣旨</th></tr><tr><td>a</td><td>関心・意欲・態度</td><td>世界の歴史の大きな枠組みと流れに対する関心と課題意識を高め、意欲的に追究するとともに、国際社会に主体的に生きる国家・社会の一員としての責任を果たそうとする。</td></tr><tr><td>b</td><td>思考・判断・表現</td><td>歴史から課題を見いだし、文化の多様性と現代世界の特質を世界史的視野に立って多面的、多角的に考察するとともに、国際社会の変化を踏まえ公正に判断する。また追究し考察した過程や結果を適切に表現する。</td></tr><tr><td>c</td><td>資料活用の技能</td><td>世界の歴史についての諸資料を収集し、有用な情報を選択して活用することを通して歴史的事象を追究する方法を身に付ける。</td></tr><tr><td>d</td><td>知識・理解</td><td>世界の歴史についての基本的な事柄を、日本の歴史と関連付けながら理解し、その知識を身に付けている。</td></tr></table>	評価の観点		科目の評価の観点の趣旨	a	関心・意欲・態度	世界の歴史の大きな枠組みと流れに対する関心と課題意識を高め、意欲的に追究するとともに、国際社会に主体的に生きる国家・社会の一員としての責任を果たそうとする。	b	思考・判断・表現	歴史から課題を見いだし、文化の多様性と現代世界の特質を世界史的視野に立って多面的、多角的に考察するとともに、国際社会の変化を踏まえ公正に判断する。また追究し考察した過程や結果を適切に表現する。	c	資料活用の技能	世界の歴史についての諸資料を収集し、有用な情報を選択して活用することを通して歴史的事象を追究する方法を身に付ける。	d	知識・理解	世界の歴史についての基本的な事柄を、日本の歴史と関連付けながら理解し、その知識を身に付けている。	
評価の観点		科目の評価の観点の趣旨															
a	関心・意欲・態度	世界の歴史の大きな枠組みと流れに対する関心と課題意識を高め、意欲的に追究するとともに、国際社会に主体的に生きる国家・社会の一員としての責任を果たそうとする。															
b	思考・判断・表現	歴史から課題を見いだし、文化の多様性と現代世界の特質を世界史的視野に立って多面的、多角的に考察するとともに、国際社会の変化を踏まえ公正に判断する。また追究し考察した過程や結果を適切に表現する。															
c	資料活用の技能	世界の歴史についての諸資料を収集し、有用な情報を選択して活用することを通して歴史的事象を追究する方法を身に付ける。															
d	知識・理解	世界の歴史についての基本的な事柄を、日本の歴史と関連付けながら理解し、その知識を身に付けている。															

学期	内容のまとめ	時数	単元（題材）	学習内容	評価の観点				単元（題材）の評価規準	評価方法
					a	b	c	d		
1 学期 1 2 週	1、古代文明史	24	オリエント世界と地中海世界 西アジア世界 南アジア世界 東アジア世界 内陸ユーラシア 東南アジア世界 古代アメリカ	・オリエント世界の成立と展開 ・ギリシア世界とヘレニズム世界 ・ローマ帝国の繁栄と解体 ・ヒンドゥー世界の成立 ・中華帝国誕生と東方の世界帝国 ・騎馬遊牧民国家の興亡 ・東南アジア諸国家の再編成 ・古アメリカ世界の成立	○	○	○	◎	a：授業に積極的に参加している。 b：歴史の動きについて、その原因や理由について考えようとしている。 c：調べたいことに応じた必要な資料を見つけることが出来る。資料と資料の関係を見分けられる。 d：歴史上の知識を論理的に組み立て時代像を描けている。	授業観察 提出課題 定期試験
	2、中世史	24	イスラーム世界 ヨーロッパ世界 東アジア世界の変容とモンゴル帝国	・イスラーム世界の成立と発展 ・東・西ヨーロッパ世界の成立 ・カトリック教会と十字軍 ・中世ヨーロッパ文化 ・中世的世界の動揺とルネサンス ・唐の崩壊後の東アジア ・宋代の新展開 ・モンゴル帝国、元朝の成立						授業観察 提出課題 定期試験

2 学 期 1 4 週		56	海域世界の発展 ユーラシア諸帝国の繁栄 大交易時代 近世のヨーロッパ 欧米における工業化と国民国家の形成 産業資本主義と帝国主義 アジア諸地域の変革運動 世界戦争の時代	・三つの海域世界の成立と拡大 ・イランと中央アジアの繁栄 ・東地中海の強国 オスマン帝国 ・インドの大国—ムガル帝国 ・明・清と東アジア世界 ・海洋帝国の出現と大交易時代 ・主権国家群の形成と宗教改革 ・18世紀欧州と啓蒙専制国家 ・工業化と社会問題の発生 ・合衆国とラテンアメリカの独立 ・フランス革命とウィーン体制 ・西アジアの改革運動 ・アジアの植民地化と民族運動 ・清の動揺と変貌する東アジア ・第一次世界大戦 ・大戦後の合衆国とヨーロッパ ・世界恐慌と国際対立の激化 ・第二次世界大戦	○	○	○	◎	a：授業に積極的に参加している。 b：歴史の動きについて、その原因や理由について考えようとしている。 c：調べたいことに応じた必要な資料を見つけることが出来る。資料と資料の関係を見分けられる。 d：歴史上の知識を論理的に組み立て時代像を描けている。	授業観察 提出課題 定期試験
3 学 期 9 週		36	国民国家体制と東西の対立 経済のグローバル化と新たな地域秩序	・アメリカの覇権と冷戦の展開 ・アジア・アフリカ諸国の独立と「第三勢力」 ・戦後体制の動揺 ・世界の多極化とソ連の崩壊 ・経済のグローバル化と地域統合 ・グローバル化と新しい国際秩序 ・21世紀を生きる	○	○	○	◎	a：授業に積極的に参加している。 b：歴史の動きについて、その原因や理由について考えようとしている。 c：調べたいことに応じた必要な資料を見つけることが出来る。資料と資料の関係を見分けられる。 d：歴史上の知識を論理的に組み立て時代像を描けている。	授業観察 提出課題 定期試験
	3、近世・近代史									
合計時数(50分授業)		140								